

福井ブランド全国発信強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H23 年度	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等		政策 [高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]			<input type="checkbox"/> 県単		□ 補助金	経過年数				
			[福井県観光新戦略]				<input type="checkbox"/> その他	□ その他		7 年		
[事業目的]												
福井ブランドを全国に展開するため、情報の発信元となる都市圏での集中的なPRや企業等とコラボレーションしたPRなどを展開し、食や歴史、恐竜などの福井ブランドの認知度向上および誘客促進を図る。												
[事業内容]												
(1) ファミリー層をターゲットとした企業コラボ等 1 首都圏の大型商業施設でのRPイベントの開催 (5,943千円) (2) 新たなPRルートの開発や情報発信 1 情報発信力の高いマスコミ等を対象とした新たな素材をPRする 講座の開催 (1,929千円) 2 大手書店とのタイアップによるPRイベントの開催 (2,756千円) 3 地方版図柄入りナンバープレートの制作 (1,057千円) (3) ブランド発信コンテンツの充実等 (16,494千円) ・PR資材の制作、取材支援等 ・ブランド発信ポスター印刷												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		45,882	40,423	39,828	28,156	28,179	30,000					
2月現計予算額の推移		45,882	40,423	34,828	28,156							
決算額の推移		39,806	31,635	32,667								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	魅力度ランキング <small>(地域ブランド調査(ブランド総合研究所))</small>	(目標)			(25)	(25)	(25)		20位代中位を目標			
	実績	40	45	31	41							
活動指標	新聞、雑誌等への掲載件数	(目標)		(750)	(810)	(810)	(810)		対前年度比100%を継続			
	実績	654	736	806								
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	28,179			(諸)	192	27,987	事業実施方法	直営				
							補助率					

事業評価

事業名	福井ブランド全国発信強化事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>本県の優れた歴史・文化・食等の良さを全国に発信し、ブランド価値を向上させるために、情報の発信元となる都市圏での集中的なPRや近隣の京阪神地区でのPR強化等の、効果的なPRが必要である。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 幕末明治福井150年博（仮称）開催準備事業 （役割分担） 幕末明治150年となる平成30年に向けた本県ゆかりの偉人の発信を関連事業において行う。		市町との連携状況				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
<28年度実績> ・イオンリテール(株)とのコラボによる恐竜イベント 関西圏のイオンモール5ヶ所を巡回 ・JR東日本グループとのコラボ 恐竜をテーマにした駅弁の開発、販売 ・首都圏大型商業施設における恐竜展の開催				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

アニメ専門テレビ局との「恐竜王国福井」PR事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課		課長名	岩佐浩之
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H29 年度	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等			政策 [高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				<input type="checkbox"/> 県単	□ 補助金		経過年数		
			[福井県観光新戦略]				<input type="checkbox"/> その他	□ その他				
[事業目的]												
アニメ専門テレビ局とタイアップし、公式恐竜ブランドキャラクター「Juratic」を主人公としたアニメ番組を制作、放送												
[事業内容]												
(1) 「Juratic」を主人公に本県の観光地や食などを紹介するアニメ番組を制作、放送 (2) アニメ化と連動した「恐竜王国福井」のPR												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移						5,000						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	魅力度ランキング <small>(地域ブランド調査(ブランド総合研究所))</small>	(目標)			(25)	(25)			20位代中位を目標			
		実績	40	45	31	41						
活動指標	アニメ番組の制作	(目標)				(1)						
		実績										
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	5,000				5,000	事業実施方法		直営				
						補助率						

事業評価

事業名	アニメ専門テレビ局との「恐竜王国福井」PR事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>本県の優れた歴史・文化・食等の良さを全国に発信し、ブランド価値を向上させるために、効果的な媒体を活用したPRが必要である。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)		市町との連携状況				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

幕末明治福井150年博（仮称）開催準備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課		課長名	岩佐浩之
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区分	■ 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等		政策	[高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				□ 県単	□ 補助金		経過年数		
			[福井県観光新戦略]				□ その他	□ その他		2 年		
[事業目的]												
幕末明治150年の節目の年となる平成30年に「幕末明治福井150年博（仮称）」を開催するため、実行委員会を設置し、開催準備等を実施する。												
[事業内容]												
(1) 平成30年に開催を目指す「幕末明治福井150年博（仮称）」に向けた準備 ・実行委員会開催（4回）（193千円） ・パンフレット、ポスター、PR映像の作成等による広報PR（4,294千円） ・150年博メイン会場における展示準備（7,711千円） ・平成30年に向けた機運醸成のための講演会開催（1,301千円）												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移					5,894	13,499	50,000	—				
2月現計予算額の推移					4,719							
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	幕末明治福井150年博 の来場者	(目標)			—	—	(50,000)					
		実績			—	—						
活動指標	実行委員会の開催	(目標)				(4)						
		実績										
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	実行委員会					
予算額	13,499	6,749			6,750	事業実施方法	実行委員会への負担金					
						補助率						

事業評価

事業名	幕末明治福井150年博（仮称）開催準備事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>本県ゆかりの偉人による全国への効果的なブランド発信を行うためには、明治維新150年の節目の年となる平成30年という絶好の機会における、偉人の功績やエピソード等の顕彰、発信が必要である。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
他県の状況	薩長土肥（鹿児島県、山口県、高知県、佐賀県）において、明治維新150年を記念した事業を実施	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 幕末明治福井の偉人発信プロジェクト事業 （実績） 近代日本の幕開けに活躍した本県出身の先人について、その功績等を映像や講演会等により県内外に発信				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 歴史資源魅力創出事業（文化振興課） （役割分担） 県内各地に存在する幕末明治期の歴史資源を磨き上げ、全国に発信するなど「魅せる化」することにより、観光誘客の拡大と次世代への継承を推進	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
<28年度実績> ・準備委員会の開催 ・平成29年3月19日（日）、20日（月・祝）にプレイベントを開催				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

大河ドラマ等誘致推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等		政策	[高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	□ 補助金		経過年数		
			[福井県観光新戦略]			<input type="checkbox"/> その他	■ その他	2 年				
[事業目的]												
ドラマの素材の掘り起しや営業を強化するとともに、福井の歴史・文化を全国に発信するイベントの開催を支援し、本県が舞台となるドラマ等の誘致を図る。												
[事業内容]												
(1) ドラマ等の題材となる素材を集約し、営業 ・リーフレット等の営業ツール作成 ・県外大学と連携した講座の実施 (2) 「全国城下町シンポジウム福井大会」の開催を支援 ・日程：平成29年5月26日～28日 ・主催：全国城下町青年会議所連絡協議会												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移					3,097	4,862	5,000					
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	魅力度ランキング <small>(地域ブランド調査(ブランド総合研究所))</small>	(目標)			(25)	(25)	(25)		20位代中位を目標			
		実績	40	45	31	41						
活動指標	新聞、雑誌等への掲載件数	(目標)		(750)	(810)	(810)	(810)		対前年度比100%を継続			
		実績	654	736	806							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	4,862				4,862	事業実施方法		直営				
						補助率						

事業評価

事業名	大河ドラマ等誘致推進事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之
[事業の必要性・要求の背景]							
本県の優れた歴史・文化・食等の良さを全国に発信し、ブランド価値を向上させるために、情報発信力の高い大河ドラマ等による露出が必要である。							
[受益者]				[想定される受益者数]			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
<28年度実績> ・NHKへの要望3回 ・東京アンテナショップにおいて関係県と連携したスタンプラリーを実施(28.7.23~8.31) ・明治大学連携講座の実施(28.11.20) 等				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

恐竜ブランドキャラクタービジネス促進強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度	H24 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			政策 [高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				<input type="checkbox"/> 県単	□ 補助金				
[事業目的]												
公式恐竜ブランドキャラクター「Juratic」を活用し、新たな商品開発と販路拡大を進め、全国への「恐竜王国福井」の発信を図る。												
[事業内容]												
<p><商品開発販売の促進></p> <p>(1) 「Juratic」デザインの監修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Juratic」を活用した商品の開発にあたってのデザイン監修 ・県内外の事業者に対する商品開発に向けた直接営業 <p><広報宣伝活動の強化></p> <p>(2) 県内外での「Juratic PR隊」の広報宣伝活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3体の着ぐるみとMCによる効果的な宣伝活動を県内外で実施 <li style="padding-left: 40px;">県内：恐竜博物館・保育所・幼稚園等、大型ショッピングセンター、各種イベント <li style="padding-left: 40px;">県外：大型商業施設、県外観光地等でのイベント実施 												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		5,844	21,745	21,846	10,045	10,564	11,000					
2月現計予算額の推移		5,844	30,133	21,846	10,045							
決算額の推移		5,305	29,685	21,662								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	ジュラチック累計商品数 (目標)	(100)	(200)	(231)	(254)	(279)	(307)		対前年度1割増			
	(アイテム数) 実績	144	210	275								
活動指標	商品・サービスの開発支援(監修)件数 (目標)	(100)	(200)	(231)	(254)	(279)	(307)					
	実績	144	210	275								
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	10,564			(諸) 3,114	7,450	事業実施方法		直営				
						補助率						

事業評価

事業名	恐竜ブランドキャラクタービジネス促進強化事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>県内企業および県外企業の恐竜を活用した商品製作を促進するため、福井県公式恐竜ブランド「Juratic（ジュラチック）」を制作した。さらに、「Juratic」を活用したPR活動を行う事で「福井県＝恐竜」の定着を図り、全国からの誘客を目指す。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
商品製造企業				41企業			
他県の状況	キャラクター使用の際にロイヤリティ徴収を行っている都道府県は本県を含めて4県 ・千葉県（チーバくん） ・奈良県（せんとくん） ・島根県（しまねっこ）	前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	事業名 (実績)		
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	市町との連携状況		事業名 (役割分担)			
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
・平成29年2月現在商品開発数：41社297アイテム				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

福井駅広場恐竜王国ふくい推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之																																			
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H26 年度	事業終了 予定年度	H30 年度																																		
関連する県の計画等			政策 [高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	□ 補助金		経過年数																																				
			[]			<input type="checkbox"/> その他	□ その他		4 年																																					
<p>[事業目的]</p> <p>JR福井駅西口駅前広場に設置した恐竜モニュメント等を運営し、県都の玄関口において「恐竜王国福井」をPRするとともに、恐竜モニュメントをライトアップすることにより観光スポットとして整備を行い、観光客の誘客を促進する。</p>																																														
<p>[事業内容]</p> <p>(1) 恐竜モニュメント維持管理 (2) 恐竜トリックアート維持管理 (3) 恐竜モニュメントおよび恐竜壁画ライトアップ電気料</p>																																														
<p>[予算額の推移等] (単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 5%;">31年度</th> <th style="width: 40%;">主な増減理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初予算額の推移</td> <td></td> <td>89,576</td> <td>32,247</td> <td>2,651</td> <td>2,555</td> <td>3,000</td> <td></td> <td rowspan="3">H27に整備が完了したことから、H28からは維持管理経費のみ</td> </tr> <tr> <td>2月現計予算額の推移</td> <td></td> <td>119,395</td> <td>44,424</td> <td>2,651</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額の推移</td> <td></td> <td>119,392</td> <td>44,240</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由	当初予算額の推移		89,576	32,247	2,651	2,555	3,000		H27に整備が完了したことから、H28からは維持管理経費のみ	2月現計予算額の推移		119,395	44,424	2,651				決算額の推移		119,392	44,240					
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由																																						
当初予算額の推移		89,576	32,247	2,651	2,555	3,000		H27に整備が完了したことから、H28からは維持管理経費のみ																																						
2月現計予算額の推移		119,395	44,424	2,651																																										
決算額の推移		119,392	44,240																																											
<p>[成果指標等の推移]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 5%;">31年度</th> <th style="width: 40%;">目標・指標の考え方・積算根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成果指標</td> <td>JR福井駅における「恐竜王国福井」のPR (目標)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">当事業は、JR福井駅に恐竜モニュメント等を設置し、観光客等に楽しんでもらうことで、県都の玄関口において「恐竜王国福井」をPRすることを目的としており、その成果は数値で計ることに適さないため。</td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td>ホームページ(福井駅「恐竜広場」のご案内)閲覧数 (目標)</td> <td>(2,500)</td> <td>(30,000)</td> <td>(30,000)</td> <td>(30,000)</td> <td>(30,000)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>3,363</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>平成27年3月に恐竜広場を整備しホームページを開設したため、平成26年度については、年間3万ビュー目標の月割りで算出(2,500ビュー)</td> </tr> </tbody> </table>												区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠	成果指標	JR福井駅における「恐竜王国福井」のPR (目標)							当事業は、JR福井駅に恐竜モニュメント等を設置し、観光客等に楽しんでもらうことで、県都の玄関口において「恐竜王国福井」をPRすることを目的としており、その成果は数値で計ることに適さないため。	活動指標	ホームページ(福井駅「恐竜広場」のご案内)閲覧数 (目標)	(2,500)	(30,000)	(30,000)	(30,000)	(30,000)				3,363						平成27年3月に恐竜広場を整備しホームページを開設したため、平成26年度については、年間3万ビュー目標の月割りで算出(2,500ビュー)
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠																																						
成果指標	JR福井駅における「恐竜王国福井」のPR (目標)							当事業は、JR福井駅に恐竜モニュメント等を設置し、観光客等に楽しんでもらうことで、県都の玄関口において「恐竜王国福井」をPRすることを目的としており、その成果は数値で計ることに適さないため。																																						
活動指標	ホームページ(福井駅「恐竜広場」のご案内)閲覧数 (目標)	(2,500)	(30,000)	(30,000)	(30,000)	(30,000)																																								
		3,363						平成27年3月に恐竜広場を整備しホームページを開設したため、平成26年度については、年間3万ビュー目標の月割りで算出(2,500ビュー)																																						
<p>[財源内訳・事業主体等]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">区分</th> <th style="width: 10%;">事業費</th> <th style="width: 10%;">国庫</th> <th style="width: 10%;">起債</th> <th style="width: 10%;">その他</th> <th style="width: 10%;">一般財源</th> <th style="width: 10%;">事業主体</th> <th style="width: 10%;">県</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td>2,555</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2,555</td> <td>事業実施方法</td> <td>実行予算</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>補助率</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県	予算額	2,555				2,555	事業実施方法	実行予算							補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県																																							
予算額	2,555				2,555	事業実施方法	実行予算																																							
						補助率																																								

事業評価

事業名	福井駅広場恐竜王国ふくい推進事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之	
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>当事業において整備した「恐竜広場」は、平成27年3月の開設以降、約4万人が訪れている新たな観光スポットとなっており、観光客等への「恐竜王国福井」のPRに貢献している。この効果を一過性のものとせず、継続して効果を挙げるためには、当広場に設置した各コンテンツ（恐竜モニュメント等）を常に良好な状態に保ち、いつでも楽しんでもらえるよう、適切な維持管理が必要である。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県民、県外からの観光客など				—				
他県の状況				前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況	福井駅西口駅前広場内への恐竜モニュメント等設置に係る占用許可(福井市)			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
		維持管理経費の節減			<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 96
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

「ふくいの食文化」魅力発信事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度 H29 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 H31 年度	H31 年度
関連する県の計画等		政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]			<input type="checkbox"/> 県単		□ 補助金				
		[]			<input type="checkbox"/> その他		□ その他				
[事業目的]											
注目度の高い本県の食と食文化を首都圏等のメディアに発信することにより、福井の食の知名度向上を図る。											
[事業内容]											
(1) 首都圏における「福井の食文化体験会（仮称）」の開催 首都圏のふくいの里山里海湖を感じる自然空間の中で、精進料理や職人による伝統工芸の技等、福井で育まれた魅力ある食文化を知り・味わう体験会を開催 (2) 福井の食文化講座の開催と食ツアーの造成 福井の食に見識のある講師を招聘し、福井の特色ある食・食文化や、地域に根付いた料理などを知る講座（3回）とツアーの開催											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移						4,914	5,000	5,000			
2月現計予算額の推移											
決算額の推移											
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	福井の食を取り上げる雑誌、テレビ番組数（件）	(目標) (23)	(19)	(96)	(100)	(110)	(121)	(133)	前年度実績を維持、29年度以降は本事業において発信強化を行うため、対前年度1割増を目標		
		実績 19	96	100							
活動指標	食文化体験会の参加者数	(目標)				(50)	(50)	(50)			
		実績									
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県			
予算額	4,914				4,914	事業実施方法		直営			
						補助率					

事業評価

事業名	「ふくい食文化」魅力発信事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>昨年のミラノ国際博覧会において、「禅：ZEN」をテーマに、福井の精進料理と伝統工芸品をPRした。その際、坐禅体験や胡麻豆腐作り、昆布かき実演等、体験や実演を交え、県・市町・事業者が一体となって福井県全体の魅力をPRすることで、期間中1万8000人を動員し、大きい反響を得た。今後も引き続き福井の食ブランドの発信を行うにあたり、福井の伝統的な食や食文化、食を彩る伝統工芸品等の魅力を一体的に伝えることが必要である。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
福井県内の生産者、食品業者等							
他県の状況		前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

「食の國福井」ブランド力強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部内	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度 H27 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 H30 年度	H30 年度
関連する県の計画等		政策	[「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金			
[事業目的]											
<p>民間事業者と共働して、大都市圏のホテル等における福井フェアの開催を通じて、全国に誇る美味しい旬の食材の地産外商を進めるとともに、食を彩る伝統工芸品、御食国に代表される食の歴史・文化をトータルに発信することで、「食の國福井」の全国での認知度を向上させます。</p>											
[事業内容]											
<p>○営業活動 これまでに直接訪問活動により獲得した顧客等に県職員が直接訪問し、継続的な食材の使用を促すとともに、新規開拓に向けた情報収集・訪問活動を行う。</p> <p>○営業ツールの作成 営業活動の際に使用する食の情報誌を作成する。</p> <p>○商談の場の提供 バイヤーを産地に招き、直に食材の良さ、産地風景、食文化等を体感してもらう商談の場を設ける。 マッチング商談会を開催し販路拡大を進めるとともに首都圏に県産食材のPRを実施する。</p> <p>○JRとの連携による食の発信 JR東日本と連携し、東京駅など首都圏のJR沿線において福井の食をPRする。</p> <p>○広報宣伝 情報誌によるパブリシティ活動、出向宣伝の実施</p>											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移				14,044	12,179	11,205	11,000				
2月現計予算額の推移				14,044	12,179						
決算額の推移				13,612							
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	福井の食を取り上げる雑誌、テレビ番組数(件)	(目標) 23	(19)	(96)	(100)	(110)	(121)		前年度実績を維持、29年度以降は他事業において発信強化を行うため、対前年度1割増を目標		
		実績 19	96	100							
活動指標	イベント出展件数	(目標) 10	(23)	(27)	(5)	(5)	(5)		H27までは福井フェア開催件数(件) H28年度以降は食関連イベントへの出展件数(件)		
		実績 10	25	28							
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県				
予算額	11,205			(諸) 2,000	9,205	事業実施方法	実行予算				
						補助率					

事業評価

事業名	「食の國福井」ブランド力強化事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之
[事業の必要性・要求の背景] 福井県の認知度は低いため、福井県の食のPRによる販路拡大および県内への誘客を図る。							
[受益者] 福井県内の生産者、食品業者等				[想定される受益者数]			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「地産外商」フードビジネス推進事業 (実績) 福井県独自の「地産外商」を確立するため、マーケティング、営業活動、販路拡大、広報宣伝を含めた総合的フードビジネスを展開				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井ゆかりの店の情報発信拠点活用事業（農林部） (役割分担) 当事業では県外へのPRを行うことを目的としているが、福井ゆかりの店の情報発信拠点活用事業では県産食材の販路拡大を目的としている。		市町との連携状況				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
<28年度実績> ・福井の食について掲載する雑誌数 50件 ・福井の食を取り上げるTV番組 60件 (H29.2末時点)		・事務的経費の見直しによる経費節減		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 907
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

「若狭路ご膳」推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等			[福井県観光新戦略]									
[事業目的]												
嶺南地方が誇る新鮮な海の幸等を活かしたランチメニューの普及・拡大を図り誘客を促進する。												
[事業内容]												
(1) 若狭路・昼のおすすめメニュー推奨会（事務局：若狭湾観光連盟）への補助 <ul style="list-style-type: none"> ・「若狭路ご膳」提供店の募集、登録 ・PRツールの作成（パンフレット、のぼり等） ・登録店を対象とした研修会の開催 ・キャンペーンによるPR強化 ・地域ごとの意見交換会の実施 												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		2,511	6,717	1,497	998	898						
2月現計予算額の推移		2,511	6,717	1,497	998							
決算額の推移		2,494	6,473	1,497								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	登録メニュー数	(目標) 90	(100) 125	(135) 129	(139)	(149)			対前年度10メニュー増			
活動指標	キャンペーン参加店舗数	(目標) -	(30) 29	(130) 132	(40) 79	(50)			対前年度10店舗増			
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		若狭路・昼のおすすめメニュー推奨会				
予算額	898				898	事業実施方法		補助金				
						補助率		県10/10				

事業評価

事業名	「若狭路ご膳」推進事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>平成26年7月の舞鶴若狭自動車道全線開通に向け、訪れる観光客に地元の食材を使った手軽でおいしいランチメニューをPRする目的で立ち上げ、登録店舗は順調に増加。 舞若道開通後は観光客の増加により、地元飲食店の売り上げも全体的には堅調に推移している。 しかしながら、「若狭路ご膳」の知名度やイメージの向上は発展途上であり、嶺南を代表する食ブランドとして定着を図る必要がある。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
嶺南地域の飲食店、ホテル、民宿等				約100店舗				
他県の状況	ご当地グルメとして、石川県の「能登井」、富山県の「富山湾鮎」等があり、北陸新幹線開業を契機に、さらなるPR活動を展開中。	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「海湖と歴史の若狭路」発信事業 (役割分担) 観光誘客の一環として食PRの分野を担当	市町との連携状況	嶺南6市町も若狭路・昼のおすすめメニュー推奨会会員として加盟しており。県と協働して事業を実施する。					
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
<28年度実績> ・「バイクルーズ+1キャンペーン」を実施		・補助事業者に対する県の補助部分の見直し			<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 100
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

「伝統の福井和食」発信・インバウンド促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度 H28 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 H31 年度	H31 年度
関連する県の計画等			政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				<input type="checkbox"/> 県単	■ 補助金			
[事業目的]											
福井の食・食文化を活用し、本物の和食に対する関心が高まっている海外からの観光誘客に結び付けるため、福井の食文化を学び、体験する場としてモデル的な飲食店等を支援することで拠点づくりを進め、「伝統の福井和食」を国内外に発信する。											
[事業内容]											
(1) 「伝統の福井和食」提供店舗の情報発信 ・ウェブサイトを通じた情報発信（訪日外国人向けポータルサイトへの記事掲載） ・外国人が訪れる場所（駅、空港等）へのPRチラシ設置 (2) 提供店舗の支援 ・専門家による店舗運営、実施方法等への助言											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移					5,974	2,282	3,000	3,000	29年度は、主に情報発信に特化		
2月現計予算額の推移					5,974						
決算額の推移											
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	外国人宿泊者数（人） （※暦年）	(目標)	(42,000)	(42,000)	(60,000)	(70,000)	(80,000)	(100,000)	観光新戦略：平成31年目標値 100,000人		
		実績	28,460	31,530	55,960						
活動指標	「伝統の福井和食」提供 店舗における体験者数	(目標)			—	—	—	—	提供開始初年度の実績に基づき目標設定		
		実績									
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県			
予算額	2,282				2,282	事業実施方法		直営			
						補助率					

事業評価

事業名	「伝統の福井和食」発信・インバウンド促進事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>平成25年12月にユネスコ無形文化遺産に「和食-日本人の伝統的な食文化」が登録され、和食に注目が集まっている中、ミラノ国際博覧会で本県は「禅と精進料理」を世界に向けてPRした。また、ふくいドットコム「福井の和食」のサイトにおいて、和食の原点は福井の精進料理にありという情報を英語のページも作成して発信している。今後、ZENのキーワードで検索される中で、福井の和食が広まっていくことが考えられる。海外から注目を受け、海外からの観光客が本県に集まってくる中で、より多くの来客に良い口込み情報を発信してもらうためにインバウンド対応を推進する必要がある。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
外国人観光客				約6万人			
他県の状況		前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況		体験店舗の応募時に市町推薦書を提出してもらい、運営開始後に市町からのPRを実施予定			
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
<28年度実績> ・県内5店舗で伝統の福井和食づくり体験店舗の運営を開始		・29年度は、28年度に「伝統の福井和食」提供を開始した店舗のPR・支援を実施		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 955
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

「御食国・和食の祭典」開催事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課		課長名	岩佐浩之
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H29 年度	事業終了 予定年度	H32 年度
関連する県の計画等		政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]			<input checked="" type="checkbox"/> 県単		<input type="checkbox"/> 補助金	経過年数		1 年		
		[]			<input type="checkbox"/> その他		■ その他					
[事業目的]												
御食国と呼ばれた兵庫県、三重県および都であった京都府とともに「御食国・和食の祭典」を開催し、御食国若狭の歴史と文化を全国に発信する。												
[事業内容]												
(1) 「御食国・和食の祭典」の開催 場所：兵庫県洲本市 日程：平成29年11月 内容：御食国サミットの開催 「和食の文化」体験コーナー 等												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移						1,000	1,000	1,000				
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	福井の食を取り上げる雑誌、テレビ番組数(件)	(目標) (23)	(19)	(96)	(100)	(110)	(121)	(133)	前年度実績を維持、29年度以降は他事業において発信強化を行うため、対前年度1割増を目標			
		実績 19	96	100								
活動指標	「御食国・和食の祭典」の開催	(目標)				(1)	(1)	(1)	平成30年度以降は各県において持ち回り開催予定			
		実績										
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		実行委員会				
予算額	1,000				1,000	事業実施方法		実行委員会への負担金				
						補助率						

事業評価

事業名	「御食国・和食の祭典」開催事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之
[事業の必要性・要求の背景] 本県の認知度・魅力度の向上のため、本県だけでなく、御食国として関わりのある他県と連携し、さらなるブランド力の向上を図る必要がある。							
[受益者]				[想定される受益者数]			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

恐竜博物館 企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H12 年度 経過年数 18 年	事業終了 予定年度	— 年度
関連する県の計画等			[福井県観光新戦略]									
[事業目的]												
県民をはじめとする一般に対して新しい知識や情報を提供し、恐竜をはじめとする古生物学への見識と関心を広めるため、定期的に企画展を開催												
[事業内容]												
1 企画展名	恐竜誕生：卵化石に秘められた謎（仮称）											
2 開催趣旨	卵による恐竜の誕生をテーマに、中国の恐竜卵・巣化石とそれらの親や幼体の化石を中心に展示 恐竜の巣や卵を中心とした企画展は国内では例がなく、本企画展は極めて独自性・注目度が高い											
3 開催予定期間	平成29年7月14日（金）～10月15日（日）までの94日間											
4 展示予定内容	① Baby Louie全身骨格と巣のレプリカ【日本初公開】 特徴：大型オヴィラプトル類の赤ちゃんとしては世界で唯一の化石。 ② ユウロン・ミニ完模式標本【中国国外初公開】 特徴：オヴィラプトル類の幼体の実物化石。繊細な幼体の骨が完全に残る極めて良質な保存状態の化石。 ③ オヴィラプトル類成体と卵【日本初公開】 特徴：恐竜による抱卵を示唆する貴重な成体と卵の実物化石。											
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由				
当初予算額の推移	83,228	51,696	85,072	54,928	58,651	700,000	70,000	27年度は、共催事業者との負担割合が県約80%に対して、28年度は約50%				
2月現計予算額の推移	83,228	51,696	77,459	53,306								
決算額の推移	82,944	51,605	76,729									
[成果指標等の推移]												
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	特別展観覧者数	(目標)			(200,000)	(230,000)	(230,000)	(230,000)	直近2年の平均値を目標			
	実績	180,546	176,405	224,470	237,603							
活動指標	開催日数	(目標)			(95)	(94)	(95)	(95)	7月2週目から10月1週目までの約3か月間			
	実績	92	92	93	95							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県とFBCとの実行委員会				
予算額	58,651				58,651	事業実施方法		実行委員会への負担金				
						補助率						

事業評価

事業名	恐竜博物館 企画展開催事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>県内外からの来館者に対して恐竜についてより深く紹介するため、日頃は見ることのできない貴重な資料に触れる機会を積極的に提供することが必要である。</p>							
<p>[受益者]</p> <p>恐竜博物館企画展入館者</p>				<p>[想定される受益者数]</p> <p>約23万人</p>			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)		市町との連携状況				
<p>[事業の評価]</p>							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
<28年度実績> ・恐竜博物館特別展「恐竜の大移動」 ・28年7月8日(金)～10月10日(月・祝) (95日間) ・特別展入館者数 237,603人		実行委員会における収益の配分割合を見直し		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

恐竜博物館魅力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 H29 年度	H29 年度
関連する県の計画等			政策 [高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				<input type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金				
[事業目的]												
恐竜博物館の学術性やさらなる魅力向上、入館者の増加を図るため、平成27年度に購入した実物骨格化石等について、骨格組立ておよび展示を行う。												
[事業内容]												
平成27年度に購入した32体のうち、貸出しに使用する6体を除いた26体を常設展示												
1 全体計画												
・組立 7体（実物 5体、複製 2体）												
・展示 26体（実物 20体、複製 4体、肉付模型 2体）												
2 上記のうち29年度実施分												
・組立 1体（実物 1体（アロサウルス））												
・展示 1体（実物 1体（アロサウルス））												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由				
当初予算額の推移			276,966	59,824	39,922			27年度は標本を購入し、一部を展示 28年度および29年度は、組立・展示経費のみ				
2月現計予算額の推移			276,966	59,824								
決算額の推移			276,796									
[成果指標等の推移]												
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	恐竜博物館入館者数	(目標) 708,329	(750,000) 708,975	(800,000) 931,422	(1,000,000)	(1,000,000)		31年度目標100万人				
活動指標	展示標本数	(目標) 実績		(2) 2	(23)	(1)						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	39,922			(繰入) 39,922	0	事業実施方法		直営				
						補助率						

事業評価

事業名	恐竜博物館魅力向上事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之	
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>恐竜博物館の誘客効果は非常に高く、他の観光地に対する波及効果も大きい。新規化石を骨格組立・展示による恐竜博物館のメディア等の掲載数や入館者数の増加を図るため、展示をレベルアップする必要がある。</p>								
恐竜博物館入館者				[想定される受益者数]				
				約100万人				
他県の状況				前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
<28年度実績> ・2/9～ヘスペロサウルス骨格標本等14点を展示					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

地域振興基金積立金

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H22 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[福井県観光新戦略]									
[事業目的]												
恐竜博物館のさらなる魅力向上のために、地域振興基金より借り入れた化石標本の購入・組立・展示に必要な資金を、ミュージアムバリューアップ制度を活用し、基金に積み立てていく。												
[事業内容]												
平成27年度に(株)林原から購入した恐竜等化石標本を平成29年に向けて順次組立・展示を行うにあたり、必要な資金を地域振興基金より借り入れし、ミュージアムバリューアップ制度を活用し、同基金に積立												
※ミュージアムアップバリュー制度 恐竜の化石など博物館の収蔵品について機動的な先行投資を行い、魅力の向上に合わせて料金を引き上げることにより、投資を回収する本県独自の制度												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由				
当初予算額の推移	48,960	55,460	—	73,507	84,550	80,000						
2月現計予算額の推移	107,395	108,732	158,046	147,306								
決算額の推移	107,395	108,732	158,046									
[成果指標等の推移]												
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	恐竜博物館入館者数	(目標) 708,329	(目標) 708,975	(目標) 931,422	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	31年度目標100万人				
活動指標	—	(目標) 実績						基金への返済事業であり、歳出決算額が活動内容であるため、活動指標にはなじまない。				
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	84,550			(使) 58,560 (諸) 25,990	0	事業実施方法	地域振興基金会計への積立(積立金)					
						補助率						

事業評価

事業名	地域振興基金積立金	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之	
[事業の必要性・要求の背景] 博物館の資料を購入し、本物の魅力を高めるためには、ミュージアムアップバリュー制度活用による、機動的な先行投資が必要								
[受益者] 恐竜博物館入館者				[想定される受益者数] 約100万人				
他県の状況		前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況						
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
<28年度実績> ・27年度に榊林原から全身骨格等32体を購入し、基金への積立を開始					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

第4次恐竜化石発掘調査事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input checked="" type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度	H31 年度
		政策 [高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]			<input checked="" type="checkbox"/> 県単		<input type="checkbox"/> 補助金					
関連する県の計画等		[福井県観光新戦略]			<input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> その他					
[事業目的]												
平成元年から継続的に行われてきた恐竜化石調査事業は、平成25年度から第4次発掘調査を実施しており、今後さらに新たな恐竜化石の発見も期待できることから、28年度も引き続き調査を実施												
[事業内容]												
(1) 事業内容												
1 掘削工事 (平成25年度～平成29年度) 約5,000㎡												
2 発掘調査 (平成25年度～平成30年度) 約 900㎡												
3 クリーニング (平成25年度～平成31年度) 約5,000点												
(2) 調査期間												
・平成30年度までに残りの足跡化石層およびボーンベッド層、新化石層の掘削工事および発掘調査を実施												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		47,875	70,456	38,000	40,655	42,030	40,000	40,000				
2月現計予算額の推移		47,875	70,515	38,000	40,655							
決算額の推移		37,889	66,846	47,892								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	論文及び講演回数	(目標) —	—	—	—	—	—	—	研究内容によって回数変動するため、目標数値の設定にはなじまない。			
		実績 73	56	89								
活動指標	調査日数	(目標) (41)	(41)	(41)	(42)	(42)	(42)	(42)	夏休み期間を含む7月下旬から9月上旬まで			
		実績 41	41	41								
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	42,030			(諸) 1,766	40,264	事業実施方法	直営					
						補助率						

恐竜化石等共同調査研究事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度 H22 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 H30 年度	H30 年度
関連する県の計画等		政策 [高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]			<input type="checkbox"/> 県単		<input type="checkbox"/> 補助金				
		[福井県観光新戦略]			<input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> その他				
[事業目的]											
<p>県外の恐竜をはじめとした学術価値および注目度の高い化石を対象に、その産出地組織である3自治体（長崎市、天草市、岐阜県）と共同発掘を含む研究調査や化石クリーニング事業を行い、全国に福井県の専門性と研究能力をブランドとして発信</p>											
[事業内容]											
<p>(1) 九州地方恐竜・哺乳類化石プロジェクト</p> <p>1 長崎市白亜紀脊椎動物化石共同発掘・調査研究事業（長崎市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 恐竜や翼竜など、恐竜博物館の調査による化石産出実績のある三ツ瀬層を対象に、白亜紀後期の脊椎動物化石を共同発掘 ・ 恐竜博物館での化石クリーニング・研究を経て、長崎市の実物化石を展示公開 <p>2 天草市白亜紀恐竜化石・古第三紀哺乳類化石共同調査研究事業（天草市立御所浦白亜紀資料館）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 天草市立御所浦白亜紀資料館が収集した、未処理の大型恐竜および日本最古の大型哺乳類化石をクリーニングし、天草市の実物化石を展示公開 <p>(2) 中部地方恐竜化石プロジェクト</p> <p>岐阜県白亜紀前期恐竜化石共同調査研究事業（岐阜県立博物館）</p> <p>岐阜県の手取層群を対象に、恐竜などの脊椎動物化石の産出が見込める地域を共同で調査し、試掘を実施</p> <p>(3) 四国地方恐竜化石プロジェクト</p> <p>徳島県白亜紀前期恐竜化石共同調査研究事業（徳島県立博物館）において共同探索調査を実施</p>											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		3,185	5,084	6,909	6,182	6,740	7,000				
2月現計予算額の推移		4,437	5,128	6,909							
決算額の推移		4,329	4,553	6,864							
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	論文及び講演回数 (目標)	—	—	—	—	—	—		研究内容によって回数変動するため、目標数値の設定にはなじまない。		
	実績	73	56	89							
活動指標	共同研究相手自治体等 (目標)	(3)	(3)	(3)	(3)	(4)	(4)		長崎市、天草市、岐阜県、徳島県の4自治体		
	実績	3	3	3	3						
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県				
予算額	6,740			(諸) 5,047	1,693	事業実施方法	直営				
						補助率					

事業評価

事業名	恐竜化石等共同調査研究事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>恐竜博物館による調査の主導的参画や支援を広報し、全国に福井県の専門性（ノウハウ）と研究能力を「ブランド」として売り込むとともに、国内に眠る恐竜などの古生物学資料を掘り起こし、研究の中核機関としてのイメージを定着させることで、恐竜博物館のさらなる入館者増につなげる。</p>							
[受益者] 恐竜博物館入館者				[想定される受益者数] 約100万人			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 海外恐竜化石調査共同研究事業 (役割分担) 海外における共同研究は、海外恐竜化石調査共同研究事業において実施	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
<28年度実績> ・28年8月、長崎市との共同発掘成果の恐竜化石等を一般公開				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

海外恐竜化石調査共同研究事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度	H31 年度
		政策 [高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]			<input checked="" type="checkbox"/> 県単		<input type="checkbox"/> 補助金					
関連する県の計画等		[福井県観光新戦略]			<input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> その他					
[事業目的]												
恐竜博物館の国際的な拠点化と恐竜研究ネットワークの形成を目指すため、国外の恐竜をはじめとした学術価値および注目度の高い化石を対象に、その産出地国と共同発掘を含む研究調査や化石クリーニング事業を行い、世界に向けて福井県の専門性と研究能力をブランドとして発信												
[事業内容]												
(1) タイにおける恐竜化石の発掘調査 (第3期発掘調査) (18,664千円)												
1 姉妹提携機関であるシリントーン博物館および珪化木鉱物資源東北調査研究所と共同で、タイ東北部における恐竜化石発掘調査を実施												
・ 恐竜博物館の研究職員4名が現地(タイ東北部)に赴き、発掘調査指導および化石クリーニング指導を実施												
・ 姉妹間関係を締結したタイ・シリントーン博物館との研究交流を実施												
(2) 中国における恐竜化石の共同研究 (第3期発掘調査) (9,254千円)												
1 姉妹提携機関である中国浙江省の浙江自然博物館の研究員らとの共同で、恐竜化石研究を実施												
・ 研究員4名が中国浙江省に赴き、化石クリーニング指導や現地での共同研究を実施												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由				
当初予算額の推移	27,880	30,796	34,873	27,865	27,918	28,000	28,000					
2月現計予算額の推移	27,880	30,796	34,873	27,865								
決算額の推移	26,046	30,276	33,853									
[成果指標等の推移]												
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	論文及び講演回数 (目標)	—	—	—	—	—	—	研究内容によって回数変動するため、目標数値の設定にはなじまない。				
	実績	73	56	89								
活動指標	共同研究相手国 (目標)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	中国、タイの2か国				
	実績	2	2	2	2							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	27,918			(諸) 191	27,727	事業実施方法	直営					
						補助率						

事業評価

事業名	海外恐竜化石調査共同研究事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>タイや中国などアジア地域での研究員による恐竜化石調査の共同研究を行うことで、恐竜博物館による調査の主導的参画や支援を広報し、全国に福井県の専門性（ノウハウ）と研究能力を「ブランド」として売り込むとともに、国外に眠る恐竜などの古生物学資料を掘り起こし、研究の中核機関としてのイメージを定着させることで、恐竜博物館のさらなる入館者増につなげる。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
恐竜博物館入館者				約100万人			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 恐竜化石等共同調査研究事業 (役割分担) 国内における共同研究は、恐竜化石等共同調査研究事業において実施	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
<28年度実績> ・タイにおいては、ナコーン・ラチャシーマ・ラジャバット大学付属珪化木鉱物資源東北調査研究所と共同で29.1.18~2.25に調査を実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

天然記念物恐竜化石・発掘地保全事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐 浩之
福井ふるさと元気宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 政推枠	ビジョン [] 政策 []			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H29 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度	H31 年度
関連する県の計画等			[]								
[事業目的] 勝山市北谷の発掘調査（第1次～第3次）の地層および、そこで見つかった5種の新種恐竜化石は国指定の天然記念物に指定される見込みであり、申請・指定に当たり必要となる5種の新種化石の保管施設の保全および発掘地域の特定、さらには発掘地の維持管理を行うことを目的とする。											
[事業内容] 天然記念物の保全に必要な措置 (1) 発掘地の維持管理（2,637千円） 天然記念物に指定されていることを示す看板の設置および除草											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移						2,637	3,000	3,000			
2月現計予算額の推移											
決算額の推移											
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	恐竜博物館入館者数	(目標) (570,000)	(750,000)	(800,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	31年度目標100万人		
		実績 708,329	708,975	931,422							
活動指標	恐竜博物館等の保全の実施	(目標)				(1)	(1)	(1)			
		実績									
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県			
予算額	2,637				2,637	事業実施方法		直営			
						補助率					

事業評価

事業名	天然記念物恐竜化石・発掘地保全事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐 浩之
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>恐竜博物館に所蔵している福井産出の化石が天然記念物に指定される。 天然記念物等の文化財については、盗難や毀損防止の措置を行う必要がある。 そのため館内においては展示施設のセキュリティを強化するとともに、発掘地層付近においては注意喚起看板を設置するとともに、除草を実施する。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
恐竜博物館入館者				約100万人			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

ジオパーク推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H21 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[福井県観光新戦略]									
[事業目的]												
ジオパークに認定されている「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」の活動を支援することで、福井県立恐竜博物館および恐竜ブランドのPRを図る。												
[事業内容]												
(1) 恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク推進協議会が行う以下の活動に補助												
○活動内容												
・ジオパーク学習、ジオパーク講演会・研修会の開催												
・ジオツアーの開催												
・ガイド養成講座の開催												
○補助率 1/2 (上限500千円) 以内												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由				
当初予算額の推移	500	500	500	500	500	500						
2月現計予算額の推移	500	500	500									
決算額の推移	500	500	500									
[成果指標等の推移]												
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	恐竜博物館入館者数 (目標)	(570,000)	(750,000)	(800,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	31年度目標100万人				
	実績	708,329	708,975	931,422								
活動指標	イベントの開催、全国規模の研修会参加等回数 (目標)		(18)	(6)	(6)	(6)	(6)	当該年度に開催予定の研修会等を積み上げ				
	実績		18	20								
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク推進協議会				
予算額	500				500	事業実施方法		補助				
						補助率		1/2 以内				

事業評価

事業名	ジオパーク推進事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之	
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>ユネスコの支援するジオパークは、地質学的に重要な地層を含む一種の自然公園であり、新たな観光資源として活かすことが期待されている。県内では「恐竜、恐竜化石」をメインテーマとしたジオパークを目指し、平成21年10月に「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」が認定された。</p> <p>ジオパークの推進を図っていくため、県としては、勝山市を中心とする「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク推進協議会」に参画し、協議会が行う取組に対し、地質学的な検証や財政的支援を行う必要がある。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
恐竜博物館入館者				約100万人				
他県の状況	ジオパーク認定状況（39地域） 世界ジオパーク認定（8地域） 日本ジオパーク認定（31地域）			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）			市町との連携状況	勝山市は「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク推進協議会」の構成員・事務局			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
<28年度実績> ・他県での研修会等参加 9回 （アジア太平洋ジオパークネットワークシンポジウム等） ・県内でのイベント開催 11回 （市民向け講座、研修会等）					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

第2恐竜博物館整備検討事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐 浩之	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業] 政策 [高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]			事業 区分	■ 国庫 □ 県単 □ その他	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	28 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	29 年度
関連する県の計画等			[福井県観光新戦略]									
[事業目的]												
平成28年度に設置した第2恐竜博物館（仮称）基本構想・計画策定委員会の検討結果（備えるべき機能、官民の参画範囲や手法等）に基づき、第2恐竜博物館（仮称）の立地候補地や配置計画を調査・整理するとともに、官民役割分担など事業スキームの具体化、整備効果・来館者拡大策等を検討する。												
[事業内容]												
(1) 立地候補地選定を検討する委員会の開催 ・各候補地の諸条件の整理、各候補地の比較検討、官民の役割分担を整理 (2) 各候補地における事業実現性検証調査 ・民間参画手法、事業費削減効果、配置イメージ等を調査												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移					9,231	8,988						
2月現計予算額の推移					9,231							
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	恐竜博物館入館者数	(目標) (570,000)	(750,000)	(800,000)	1,000,000	(1,000,000)			31年度目標100万人			
		実績 708,329	708,975	931,422								
活動指標	委員会開催	(目標)			(5)	(4)						
		実績										
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	8,988	4,494			4,494	事業実施方法	直営					
						補助率	なし					

事業評価

事業名	第2恐竜博物館整備検討事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐 浩之
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>福井県観光新戦略において、恐竜博物館のレベルアップとして誰もが楽しみ学べるエデュテイメント機能の強化が必要とされている。 今年度開催している第2恐竜博物館（仮称）基本構想・計画策定委員会での議論も踏まえ、恐竜・古環境（福井県で発見された恐竜たちが生きていた時代）に関する最先端の成果をより分かりやすく学べる施設として、子どもから大人まで誰もが楽しみながら学べる新しい施設を整備する。</p>							
[受益者] 恐竜博物館入館者				[想定される受益者数] 約100万人			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
<28年度実績> ・検討委員会を5回実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

「動く恐竜体験ライブ」開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業] 政策 [高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]			事業 区分	■ 国庫 □ 県単 □ その他	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度 H27 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[福井県観光新戦略]								
[事業目的] 恐竜を活用したアミューズメント性の高いイベントを開催することで、恐竜博物館の来館者・年間100万人超を目指すとともに、まちなかや地域全体に観光客が周遊できるしくみを構築する。											
[事業内容] (1) 「DINO-A-LIVE in ふくい勝山2017」実行委員会(仮称)への負担金 ・開催主体: 「DINO-A-LIVE in ふくい勝山2017」実行委員会(仮称) <福井県・勝山市・近畿日本ツーリスト(株)> ・開催期間: 平成29年8月10日(木)～21日(月) <12日間> ・開催場所: 勝山市農協会館 ・開催内容: フクイラプトル含む動く恐竜3体による恐竜ライブショー <約30分間>											
[予算額の推移等] (単位: 千円)											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移				5,000	5,000	5,000	5,000				
2月現計予算額の推移				5,000	5,000						
決算額の推移				5,000							
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	公演の定員に対する入場者実績の割合(%) (目標) 実績			(60) 57.0	(60) 47.3	(60)	(60)		都市圏でのライブショーにおける、定員に対する入場者実績の割合(60%)を目標として設定		
活動指標	公演回数 (目標) 実績			(127) 127	(48) 48	(50)	(127)		土日2日×4回+平日4日×3回+お盆6日×5回		
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県				
予算額	5,000	2,500			2,500	事業実施方法	勝山市・事業者との実行委員会形式				
						補助率					

事業評価

事業名	「動く恐竜体験ライブ」開催事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之	
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>恐竜博物館において本物の魅力を提供し、本事業において動く恐竜の迫力を提供することにより、恐竜博物館に新たな客層を呼び込み、入館者の増加につなげるため本事業が必要である。</p>								
公演入場者数				[想定される受益者数]				
				約1万人				
他県の状況				前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況	勝山市が開催実行委員会に参画し、県と同額の5,000千円を負担			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
<28年度実績> ・8/6(土)～8/17(水)の12日間 会場：勝山市体育館「ジオアリーナ」 入場者：9,551人		・恐竜博物館との周遊性の向上、来場者数の増加を図るため、会場等を変更			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

恐竜博物館入館利便性向上事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之																																											
福井ふるさと元気宣言における位置付け	■ 政推枠	ビジョン	[元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度 H28 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 H30 年度	H30 年度																																											
	政策	[高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]			<input checked="" type="checkbox"/> 県単		<input type="checkbox"/> 補助金																																															
関連する県の計画等		[福井県観光新戦略]			<input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> その他																																															
<p>[事業目的]</p> <p>恐竜博物館への入館者数が顕著に増加している中、約8割を占める自動車での入館者の利便性を確保し、繁忙期における勝山市内での渋滞発生状況の改善を図るため、例年勝山市が行っているパーク&バスライドについて、平成28年度、県が新たな臨時駐車場を加えて実証実験運行し、渋滞例の長さ、発生時間ともに減少し、一定の改善効果が見られた。</p> <p>今後、中部縦貫自動車道永平寺道路や一般県道勝山インター線の開通により、恐竜博物館へのアクセスが便利になり、交通量が増えることが予想されることから、平成29年度も継続運行する。</p> <p>また、クレジットカードが利用可能な券売機の導入により、入館者の利便性向上を図る。</p>																																																						
<p>[事業内容]</p> <p>(1) パーク&バスライドの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時駐車場設置場所：勝山大仏前（恐竜博物館より4.4km地点。約300台駐車可能） ・実施日：ゴールデンウィーク、お盆、SW等14日間 ・バス台数：6台/日 <p>(2) クレジットカード、電子マネー対応券売機の設置</p>																																																						
<p>[予算額の推移等] (単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区分</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 5%;">31年度</th> <th style="width: 40%;">主な増減理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初予算額の推移</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5,910</td> <td>19,329</td> <td>7,000</td> <td></td> <td rowspan="3" style="text-align: left;">29年度はクレジットカード対応券売機の導入により増加</td> </tr> <tr> <td>2月現計予算額の推移</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額の推移</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由	当初予算額の推移				5,910	19,329	7,000		29年度はクレジットカード対応券売機の導入により増加	2月現計予算額の推移								決算額の推移																
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由																																														
当初予算額の推移				5,910	19,329	7,000		29年度はクレジットカード対応券売機の導入により増加																																														
2月現計予算額の推移																																																						
決算額の推移																																																						
<p>[成果指標等の推移]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区分</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 5%;">31年度</th> <th style="width: 40%;">目標・指標の考え方・積算根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成果指標</td> <td>恐竜博物館入館者数</td> <td>(目標) (570,000)</td> <td>(750,000)</td> <td>(800,000)</td> <td>(1,000,000)</td> <td>(1,000,000)</td> <td>(1,000,000)</td> <td rowspan="2" style="text-align: left;">31年度目標100万人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>実績 708,329</td> <td>708,975</td> <td>931,422</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td>シャトルバス運行台数</td> <td>(目標)</td> <td></td> <td></td> <td>(72)</td> <td>(84)</td> <td>(80)</td> <td rowspan="2" style="text-align: left;">1日当たり6台×実施日数</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td>72</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠	成果指標	恐竜博物館入館者数	(目標) (570,000)	(750,000)	(800,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	31年度目標100万人			実績 708,329	708,975	931,422				活動指標	シャトルバス運行台数	(目標)			(72)	(84)	(80)	1日当たり6台×実施日数			実績			72		
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠																																														
成果指標	恐竜博物館入館者数	(目標) (570,000)	(750,000)	(800,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	31年度目標100万人																																														
		実績 708,329	708,975	931,422																																																		
活動指標	シャトルバス運行台数	(目標)			(72)	(84)	(80)	1日当たり6台×実施日数																																														
		実績			72																																																	
<p>[財源内訳・事業主体等]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">区分</th> <th style="width: 10%;">事業費</th> <th style="width: 10%;">国庫</th> <th style="width: 10%;">起債</th> <th style="width: 10%;">その他</th> <th style="width: 10%;">一般財源</th> <th style="width: 10%;">事業主体</th> <th style="width: 10%;">県</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td>19,329</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>19,329</td> <td>事業実施方法</td> <td>直営</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>補助率</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県	予算額	19,329				19,329	事業実施方法	直営							補助率																				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県																																															
予算額	19,329				19,329	事業実施方法	直営																																															
						補助率																																																

事業評価

事業名	恐竜博物館入館利便性向上事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐浩之				
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>繁忙期における勝山市内での渋滞発生状況の改善は喫緊の課題であり、今年度、県が新たな臨時駐車場を加えてパーク&バスライドを実施し、渋滞列の長さ、発生時間も減少し、一定の改善効果が見られたものの、渋滞の解消までには至らなかった。</p> <p>今後、中部縦貫自動車道永平寺道路や一般県道勝山インター線の開通により、恐竜博物館へのアクセスが便利になり、交通量が増えることが予想され、今年度も継続して実施する必要がある。</p> <p>また、インバウンド増加の影響で入館料のクレジットカード決済の希望が高まっている。クレジットカード手続きを有人で実施すると入館混雑の原因にもなるのでクレジットカード対応の券売機を導入する必要がある。</p>											
恐竜博物館入館者				[想定される受益者数]							
				約100万人							
他県の状況				前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)						
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況	勝山市が農協会館前に臨時駐車場を設け、パーク&バスライドを実施 ⇒バス6台をゴールデンウィーク、お盆等、県運行の14日間を含む日程で運行						
[事業の評価]											
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価						
<28年度実績> ・越前大仏前に臨時駐車場を設置 ・バス6台をゴールデンウィーク、お盆等12日間運行		今年度の入館者数1万人以上の日を来年のカレンダーに置き換え、14日間実施			<input type="checkbox"/>	拡充	<input type="checkbox"/>	縮減	<input type="checkbox"/>	終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/>	継続	<input type="checkbox"/>	休止	<input type="checkbox"/>	完了	
					<input type="checkbox"/>	整理統合	<input type="checkbox"/>	廃止	<input type="checkbox"/>	その他	

恐竜モニュメント維持・補修事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐 浩之	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業] 政策 [高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度	29 年度
関連する県の計画等			[]									
<p>[事業目的]</p> <p>恐竜博物館正面の「レインボーサウルス」は、ガラスタイルが剥がれ始め、来館者等の頭上に落ちる危険がある。そのためタイルの張り替えと塗装等の補修作業を行いたい。</p> <p>勝山市荒土町のブラキオサウルスのモニュメントも風雪で外装部分が傷み腐食のおそれがある。通行人の安全性を考慮し、安全点検を実施外装の補修を行いたい。</p>												
<p>[事業内容]</p> <p>(1) レインボーサウルス補修 (18,954千円) ・修繕一式</p> <p>(2) ブラキオサウルス点検・補修 (4,000千円) ・恐竜モニュメント安全点検 ・恐竜モニュメント外装補修</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移						21,597						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	修繕の完了 (目標) 実績					(1)						
活動指標	修繕 (目標) 実績					(1)						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	21,597				21,597	事業実施方法	直営					
						補助率						

事業評価

事業名	恐竜モニュメント維持・補修事業	部局名	観光営業部	課名	ブランド営業課	課長名	岩佐 浩之
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 恐竜博物館前および勝山市荒土町に設置された恐竜モニュメントは設置後長期間が経過し破損箇所が出ている。 ・ 勝山市郡町に設置されていた「ホワイトサウルス」は風雪でモニュメント頸部が破損し頭部が落下する事故が生じている。 ・ モニュメントを観覧する観光客等の危険が発生しないよう、補修および点検を実施する必要がある。 							
[受益者] 恐竜博物館入館者数				[想定される受益者数] 約100万人			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績	実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
			<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		